

発行:2024 年 10 月 21 日

筑波サーキットで 58 秒台を達成した
「GT-R NISMO」向けチューニングタイヤを限定発売
～DUNLOP スポーツタイヤの次世代技術の集大成～

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、日産自動車株式会社のスポーツカー「GT-R NISMO(2024 年モデル)」向けチューニングタイヤの EMT タイヤ^{※1}DUNLOP(ダンロップ)「SPORT MAXX R58(スポーツマックスアールゴーハチ)」を10月21日からダンロップタイヤ公式オンラインストアにて限定70セットを発売します。発売サイズはフロントタイヤ 255/40ZR20 とリアタイヤ 285/35ZR20 の2サイズで、価格はオープン価格です。

同タイヤは DUNLOP の持つスポーツタイヤの次世代技術を集結させたもので、1月9日から10日に全長約2kmの筑波サーキット(茨城県)にて、「GT-R NISMO(2024年モデル)」に装着したタイムアタックチャレンジで、58秒820^{※2}を記録しました。

▷ダンロップタイヤ公式オンラインストア:<https://tyre.dunlop.co.jp/ec>



フロントタイヤ

リアタイヤ



筑波サーキットでタイムアタックをしたドライバーの飯田章氏と「SPORT MAXX R58」を装着した「GT-R NISMO(2024年モデル)」

「SPORT MAXX R58」は、高速域でのサーキット走行でも安定した走りを可能にする高いグリップ性能と耐摩耗性能を実現する DUNLOP 史上最高のスポーツタイヤです。ショルダー部分の角を落として丸みを持たせた新開発の「SPORT MAXX 専用特殊プロファイル」による接地圧の最適化で、優れたグリップ力と耐摩耗性能を発揮します。さらに、タイヤ表面の剛性を高める役割を果たすベルト構造においてショルダー一部分の締め付け力を強化し、時速 300km でもタイヤ形状を安定させることで高速耐久性能を向上させました。またデザイン面では、タイヤ側面のブランド名および商品名に当社独自の黒色デザイン技術「Nano Black」^{※3}を採用。

今後、同タイヤに搭載した新技術は、ウルトラハイパフォーマンスタイヤ「SPORT MAXX」ブランドでの展開を図っていきます。

※1 タイヤの空気圧がゼロになっても、一定距離を走行できるタイヤ。

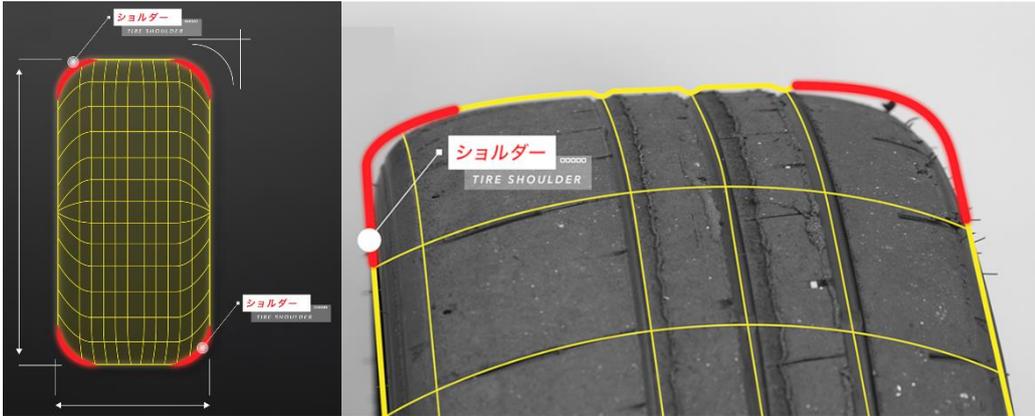
※2 【走行条件】●タイヤサイズ: フロントタイヤ 255/40ZR20 97Y、リアタイヤ 285/35ZR20 100Y ●車両: GT-R NISMO(2024年モデル) ●場所: 筑波サーキットコース 2000 ●ドライバー: 飯田章 ●路面コンディション: ドライ ●気温: 2.8℃

※3 独自の黒色デザイン技術「Nano Black」を確立しタイヤ側面のロゴなどの視認性とデザイン性を向上
(2021年08月31日発行リリース): https://www.srigrp.co.jp/newsrelease/2021/sri/2021_068.html



■新技術詳細

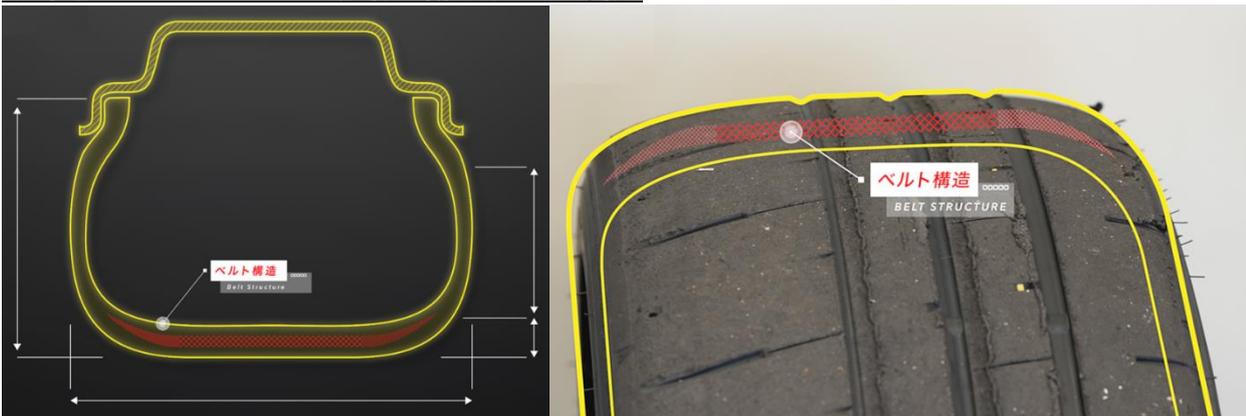
○高いグリップ性能と耐摩耗性能を可能にする新開発の「SPORT MAXX 専用特殊プロファイル」



※イメージ

ショルダー部分の角を落として丸みを持たせた新開発の「SPORT MAXX 専用特殊プロファイル」で、コーナリング時の接地圧を均一化。タイヤが路面をしっかりとらえることが可能になり、高いグリップ性能を生み出します。特にコーナリング時に負荷のかかるショルダー部分の接地圧を低減することで、一般公道走行に比べタイヤへの負荷が大きいサーキット走行においても高い耐摩耗性能を発揮します。

○時速 300km のサーキット走行に耐えるベルト構造



※イメージ

サーキット走行では、遠心力によってセンター部分に対してショルダー部分が膨らみやすくなります。タイヤ表面の剛性を高める役割を果たすベルト構造のショルダー部分の締め付け力を強めることで、時速 300km を超える高速域でもタイヤ形状が安定し、耐久性が向上します。

■発売サイズ

フロントタイヤ : 255/40ZR20 97Y

リアタイヤ : 285/35ZR20 100Y

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 TEL:0120-39-2788